



# JARA NEWS

January 2017, No. 107

from  
Japan Automotive Recyclers Alliance  
[www.jara.co.jp](http://www.jara.co.jp)

Published by JARA Corporation  
Tokyo Head Office: Shinawa Bldg. 1-2-2-7F,  
Nishinbashi, Chuo-ku, Tokyo JAPAN 103-0027  
Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690

## 「国内マーケット この一年」 自動車 リサイクル

新車需要の縮小に伴う使用済み自動車（ELV）の発生減、廃車流通経路の変化、スクラップ相場の低迷、中古車輸出の増加による仕入れ価格の高止まり、部品輸送費の高騰…。2016年の自動車リサイクル業界は「厳しい」状況が幾重にも積み重なる一年だった。自動車リサイクル法の施行から10年が経過したものの業界を取り巻く環境は改善せず、関連事業者の経営を直撃。全国で倒産、廃業が相次いだ。一方で、今年はリサイクル業界が再び成長軌道に乗るための胎動が始まった一年でもあった。来年は足元で続く苦境を乗り越えながら、業界が将来にわたり存続し、持続的成長を続けるための動きが本格化しそうだ。

ELV引取台数を取りまとめる自動車リサイクル促進センター（JARAC）は当初、16年度通期の引取台数について「消費増税が実施されれば330万台程度、延期されれば11万台ほど押し下げられる」と見ていた。ところが4～11月実績は200万6079台。現時点では「306万台を少し超える程度」とさらなる下振れを予想する。

ELVの引取台数が減少する要因は大きく二つ。新車需要の縮小に伴う解体車の発生減少と、旺盛な外需を背景にした中古車輸出の増加だ。特に年間100万台を優に超える中古車輸出の影響は大きい。その台数規模のみならず「輸出車両の平均車齢は9、10年。対してELVは14・9年。つまり、本来、日本でELVになるはずの車両が輸出されており、引取車両が輸出に先食いされている

」ことが引取台数の発生減に拍車をかけている。JARACは「来年以降もELV発生台数の減少が続く」と指摘する。

自動車リサイクル業界には来年も先行き不透明感が漂う。それでも関連事業者はリサイクル部品の生産や販売の拡大、人材育成の強化はもとより、精緻な解体の推進、IT化による業務効率化など懸命な自助努力を続けている。

一方で、今年は各団体がグループの垣根を越えて協調し、一枚岩の業界を目指す動きも本格化した。日本ELVリサイクル機構（ELV機構）は11月18日に「業界関係団体交流会」を開催。全国の関連14団体の幹部と行政が一堂に会した。ELV機構の酒井康雄代表理事は「業界全体の意見集約や情報交換ができればありがたい。このような企画を業界の中で行っていくことがELV機構の役割として重要」と認識しており、来年以降も定期的に開催していくという。

来年は再生プラスチックを活用した車種の購入時にリサイクル料金を割り引く「エコプレミアムカー制度（仮称）」の制度設計が本格化することになる。環境省と経済産業省は有識者と自動車メーカー、ユーザー代表、再プラメーカー、自動車リサイクル促進センターなどが参加する作業部会を設置。11、12月に2回の会合を開催した。18年度以降の実施に向け、来年度は再プラの使用量や率、質の担保、車種などの詳細を詰めていく計画だ。また、精緻な解体を行う事業者に対するインセンティブ制度の検討も始めており、自動車リサイクル行政を巡る動きも活発になってくる。

（日刊自動車新聞12月22日）

## 政府、公共データの開放加速 交通情報も、自動運転高度化に期待

政府は、行政機関が持つ公共データの民間開放を加速させる。12月7日に成立した官民データ活用推進基本法に基づく体制を整え、重点分野を決めて2020年までの集中的な取り組みを促す。自動運転技術の高度化につながる交通関係データも有力候補だ。

官民データ活用推進基本法は、行政機関が持つ公共データを積極的に活用し、オンライン手続きを広めたり、新産業を創出したりするのが狙い。今後、安倍晋三首相を本部長とする官民データ活用推進戦略会議を立ち上げ、基本計画の策定に入る。19日に開かれた未来投資会議でもこうした方針が示され、安倍首相は「インフラ、データを徹底的に開放し、官民の力を結集して新たな有望市場を創出していく」と語った。

自動運転分野では、国家プロジェクトの一環として開発が進む自動走行用地図に使うデータが候補になる。標識や白線、設置物など道路関係のほか、路上工事情報、事故や渋滞の発生状況、信号機の点灯情報などが開放されれば、地図の利便性が高まるほか、更新コストも下がる。政府はまた、東京オリンピックをにらみ、鉄道やバスなど公共交通機関や気象情報、駅や商業施設などの情報を統合したうえで開放し、外国人を含む観戦者や移動制約者の円滑な移動に役立てる考えだ。

交通関係データの活用は国による「官民ITS（高度道路交通システム）構想・ロードマップ」にも盛り込まれている。新法に基づく推進体制が整うことで、こうした動きがさらに加速しそうだ。

（日刊自動車新聞12月21日）



ELVの発生台数は今後も減少を続ける見通し



「ありがとう」を  
たくさんもらえる会社へ

<http://www.jara.co.jp/>



様々なデータを組み合わせて新産業を生み出す



## 国土交通省、自動運転戦略本部が初会合

国土交通省は12月9日、自動運転戦略本部の初会合を省内で開いた。本部長を務める石井啓一国土相は「自動運転分野で我が国が世界をリードしていくため、国際的な情勢や技術開発の動向、社会ニーズを的確に把握しつつ、省を挙げて国際基準などのルールづくりや技術の普及促進、社会実験、実装などの取り組みを加速していかなければならない」と語り、世界に先駆けた自動運転技術の開発や普及に意欲を示した。同本部は今後、2018年度の概算要求をにらんで来夏までに中間報告をまとめる。

同本部は石井国土相のほか、先進安全自動車（ASV）の開発や技術基準づくりを担当する自動車局、道路インフラ整備や逆走防止を担う道路局、都市計画を担当する都市局などの局長クラスと、公共交通政策部長、物流審議官や観光庁長官らで構成。本部の傘下に「環境整備」「技術開発・普及促進」「実証実験・社会実装」の3ワーキンググループを設けた。当面の検討事項として、車両に関する国際基準の策定に積極的に関与することや、事故時の賠償ルールづくり、トラック隊列走行や「道の駅」を拠点とした自動運転サービスの実証実験に取り組

### CO2削減数値(SPLシステム)

リユースパーツ使用によるCO2削減効果  
参考値 平成28年11月

3, 185t

※一般、中・大型含む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA（ライフ・サイクル・アセスメント）の考え方にに基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。

むことなどを決めた。

政府のITS（高度道路交通システム）開発計画にはこれまで、国土交通省の自動車局と道路局が中心となってきた。一方で急速に進歩する自動運転技術は事故や渋滞を減らすだけではなく、物流業の人手不足や過疎地の交通手段確保、道路の逆走防止など幅広い社会的効果が見込める。将来的には国土の効率的な利用やコンパクトシティなどの都市計画にも関係するため、省内連携を一段と進め、政策効果の最大化や事業の効率化を目指すことにした。

環境省はこのほど、2015年度の日本の温室効果ガス排出量は二酸化炭素（CO2）換算で前年度比3・0%減の13億2100万トン（速報値）だったと発表した。2年連続の排出減で、再生可能エネルギーの導入拡大や原発再稼働に伴う電力由来のCO2排出量の減少などが影響した。

15年度の温室ガス排出量は、05年度比5・2%減、13年度比6・0%減。政府は今年5月に閣議決定した地球温暖化対策計画で、温室ガスの排出量を20年度に05年度比3・8%以上、30年度に13年度比26%それぞれ削減する目標を掲げている。

山本公一環境相は6日の閣議後の記者会見で「油断することなく、対策を進める必要がある」と語った。

（日刊自動車新聞12月9日）

## 環境省、炭素税も視野に価格制度導入を検討

環境省は29日、温室効果ガスを価格換算して排出削減につなげる「炭素価格」制度の導入を検討する方針を明らかにした。1月に検討会を設置し、海外の有効事例や温暖化抑制効果などを議論する。排出量取引のほか欧州で導入されている「炭素税」も視野に入れるが、経済産業省や産業界の反発は必至だ。

山本公一環境相が同日の会見で明らかにした。山本環境相は「炭素価格制度は世界の潮流」とし、導入に前向きな姿勢を見せた。

環境省は過去に「環境税」構想を打ち出したが、経産省や産業界の反発を受けて導入を断念し、代わりに「地球温暖化対策のための税」として石油石炭税に上乗せ措置が取られた経緯がある。経産省は「二酸化炭素（CO2）排出は電源構成や技術、人口や世帯数、景気動向などに影響を受け、炭素価格の影響は限定的だ」（産業技術環境局）と炭素価格制度に否定的な立場だ。

また、ガソリンなどにかかる「当分の

間税率」（旧暫定税率）が炭素税名目で固定化される可能性もあり、自動車や石油業界からは反発も予想される。

（日刊自動車新聞11月30日）

## テスラ・モーターズ、完全自動運転を前提モデルXにカメラやセンサー

電気自動車（EV）メーカーの米テスラ・モーターズは、同社初のSUV「モデルX」に、完全自動運転を前提とした八つのカメラをはじめとするハードウェアをあらかじめ搭載し、今年末に日本国内で納車を開始する。カメラ、超音波センサーなどを、出荷するすべての車両に装備し、顧客の自動運転オプションの選択や、ソフトウェアの進化、法規制の動向などに応じて機能を生かしていく形をとる。

モデルXは2列目のドアが上に跳ね上がる独自のボディー構造を採用し、1千万円級の高級SUV市場でEVとしての地歩を築く狙いで開発した。価格はバッテリー容量などに応じ895万～1649万2千円（消費税込）。

日本法人のテスラモーターズジャパン（ニコラ・ヴィレジェ社長、東京都港区）は1日、名古屋市を起点に、メディア向けのモデルX試乗会を初めて開いた。同日、国内12番目となる専用の急速充電施設を岐阜羽島に開設した。



PLACE AD

Advertiser wanted!

Advertise your excellent products and services to readers in the automotive recycling industry around the world!

Contact with JARA Corp.

<http://www.jara.co.jp/>



# コベルコが提案する 新しい考え方

## マルチ解体機

使用済み自動車の解体以外にも廃家電などの金属製機器の解体およびさまざまな複合廃棄物の解体・分別作業が可能です。

## 自動車解体機

使用済み自動車に含まれる素材の分別作業がスピーディーに行えて希少金属資源の回収が可能です。



SK135SRD



SK210D

コベルコ建機株式会社  
www.kobelco-kenki.co.jp/

For Japan

# 新构想源于神钢

## 多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以拆除废家电等金属制机器以及各种复合废弃物品的拆除、分类作业。

## 汽车拆除机

可快速进行报废汽车内素材的分类作业，能够回收稀金属资源。

SK210D



SK210D



成都神钢工程机械(集团)有限公司  
www.kobelco-jianji.com/

For China

# 新构想源于神钢

## 多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以拆除废家电等金属制机器，以及进行各种复合废弃物品的拆除、分类作业。

## 汽车拆除机

可快速进行报废汽车内部素材的分类作业，得以回收稀有金属资源。

SK200



SK200



FAIR FRIEND ENTERPRISE CO.,LTD.  
www.ffg-tw.com/

For Taiwan

# 새로운 발상은 KOBELCO에서

## 멀티 해체기

응도 폐기된 자동차의 해체 외에도 폐가전제품 등 금속제 기기의 해체 및 다양한 복합 폐기물의 해체·분리작업이 가능합니다.



SK135SR

(주)삼정건설기계  
www.samjung-kenki.co.kr/

For Korea

# New ideas come from KOBELCO

## Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life vehicles, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.



SK210D

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC.  
www.kobelco-usa.com/

For North America

# New ideas come from KOBELCO

## Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life vehicles, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.



SK135SRD

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY AUSTRALIA PTY LTD  
www.kobelco.com.au/

For Australia

# New ideas come from KOBELCO

## Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life vehicles, Multi-Dismantling Machine can break down various metal products and equipment such as used household appliances and can separate and sort various composite material wastes.

## Car-Dismantling Machine

Car-Dismantling Machine efficiently separates and sorts raw materials in end-of-life vehicles and is able to recover rare earth metals.

SK210D



SK210D



KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V.  
www.kobelco-europe.com/

For Europe